

記入例

様式 3

<実験廃液処理依頼票>

・違う容器で同じNo.を使用しない

〇〇〇	系・センター	研 究 室 名	〇〇〇研究室	電 話 番 号	〇〇〇〇
排出源整理No.		整 理 No.		貯留記録台帳No.	〇〇〇〇-1
この実験廃液は下記内容に相違ありません。排出責任を負いますので、処理方お願いいたします。 排出責任者氏名 〇〇 〇〇 印					

内 容 物 の 明 細		分 類
成 分 の 名 称	成 分 の 割 合	
酢酸エチル	11.0%	E I 量 18.0L pH
アセトン	17.0%	
メタノール	22.0%	
エタノール	33.0%	
THF	11.0%	
DMF	6.0%	
発生 の 経 緯 取 扱 の 注 意 事 項 など		
処理申込 容器ごとに「実験廃液処理依頼票」を作成する。依頼票は3部作成し、 ①容器貼付（ポリ容器にガムテープで貼付する） ②施設管理課へ提出 ③排出源控え（排出記録として、5か年保管）とする。		記入上の注意 ・排出者は楷書で姓名をはっきり署名すること ・商品名・略称・化学式での記入は避けること
容器保管場所		
〇〇棟 廃液保管庫		

水溶液は必ずpHを記入すること

様式 1

<実験廃液分別貯留記録台帳>

処理依頼年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日		台帳No.	〇〇〇〇-1
貯 留 区 分 (当該区分を○で囲む)	無機系 廃 液	A 水 銀 系 廃 液 B シアン系廃液 C フッ素系廃液			
		D I 重 金 属 系 廃 液 D II 酸 系 廃 液 D III アルカリ系廃液			
	有機系 廃 液	可燃性廃液	○ E I 炭化水素系廃溶剤	E II 廃 油	
		難燃性廃液	F I ハロゲン系廃溶剤	F II 難燃性有機廃液	F III フッ素系廃溶剤 F IV 写 真 廃 液
〇〇〇	系・センター	容 器 番 号		取扱管理責任者	〇〇 〇〇 印
研 究 室 名	〇〇〇研究室	電 話 番 号	〇〇〇〇	排 出 責 任 者	□□ □□ 印

<発生の経緯>

年月日	内容物質(危険物は赤丸)	投入量 (L)	濃度 (g/L)	投入者氏名	備考(危険物質の表示・経緯等)
H〇〇.〇〇.〇〇	酢酸エチル	2		〇〇 一郎	廃液を投入する都度、投入者
H〇〇.〇〇.〇〇	アセトン	3		〇〇 二郎	
H〇〇.〇〇.〇〇	メタノール	4		〇〇 三郎	
H〇〇.〇〇.〇〇	エタノール	6		〇〇 四郎	
H〇〇.〇〇.〇〇	THF	2		〇〇 五郎	
H〇〇.〇〇.〇〇	DMF	1		〇〇 花子	

排出前のチェック
☐ 容器は破損していないか
☐ フタ（パッキン）は破損していないか
☐ 液量は適正か
☐ 廃液分類と容器の色は合っているか

提出先
 ・排出源にて保管
 ・取扱管理責任者に提出
 ・施設管理課へ「実験廃液処理依頼票」と共に提出

記入上の注意
 ・排出者は楷書で姓名をはっきり署名すること
 ・廃液を投入する都度、投入者本人が記入すること
 ・商品名・略称・化学式での記入は避けること